

御心配かけました日、出づものストライキは本日午後八時頃、會社側と争議岡とで會見し
 手して別紙の通り解決いたしました。私共は始めから誰れが願われても、あたりまじだ
 と言われる様な無理のない嘆願をいたしました。が、労働者は馬鹿にして居られたと
 みえて會社側は、始めからテンデ、奴隷りつけるだけ下度けつなかつたので、イヨクストラ
 イキになりました。それから云ふものは、主人も家来もないケンカです。
 會社側では、残った人達や、家族の皆様は、ケイサツをダシにして貰かして言つたり、皆様
 がお聞きになつたように、テダラメを言つて皆様に心配をかけて、皆様のその心配
 されることを利用して争議岡を切り崩さうとして、戦かわれたので、親兄弟の
 方々が、それを本當にされて、イヤガル争議岡員を無理に連れ戻されたりし
 たのは誠に情けないことと思ひました。然し、實際のこととお知りにな
 らないで、先の方から先や節言われたのだから、御無理もないこととお察し
 して居ります。また、争やに参加されなかつた従業員の方々も、中途から
 止められた人々も、親に心配をかけるのが苦しいので、本意乍ら参加されなかつたの
 があつたり、會社の言われることを本當にして、私共のストライキを、悪いものと思つて
 止められたのであろうと思ひます。下すからモット、皆んながヨク相談し合つてやれ
 ばよかつたので、私共の至らなかつたことをオロビいたします。

ストライキ解決の当り
 家族の皆様 従業員諸君に報告いたします

解決の條項は
 別紙に書いて
 ありますからごらん
 下さい。
 争議岡としては
 明日一日休みまして
 此後様に報告したり
 お札に行つたり
 致します。

争議岡側では、

本旨解決のとき、
 會社側の方へ明証
 員を遣りながら皆様が
 が元のようになつて
 行くことに話合つて
 ありますから御通知
 下さい。
 争議岡側では、始めから正しいことは、そして皆が裏切らずに正々堂々と戦へば必ず私共の
 正しい要求が通ると思つて確信をもつて居りました。大争議岡が嘘や脅かしを言つて皆様
 に廻りましても、私共は眞實な皆様と許へまして戦かつて参りました。処が他工場の皆様や
 青年團や所内會の人々までが、ヒドク河階を引まして、皆様が私共の味方となつて力添へまして
 下さりましたので、就中でも、滋慶地方の各工場の人々が、有志會や工場代表者會談を聞いて
 我々を救助して下さつたので、一心強く戦かひましたので、おかげも持ちまして私共の大部分
 の要求が入りましたのは、皆様の方でも喜んでいらしたと見えます。

扱て争つてる中は、貴言葉に買ひ言葉と言つて、両方に見にくい毒つき合ひはありましたが、話か
 田柄に手とり皆様と共に再び工場を動かすことになつたのですから、一筋親しく働いて、會社
 へ今度の話できまつた色々のこと、改善を實行していただくに仲よくやうてほしいと思ひます。
 七両心配かけました。おかげを申しあげ、且つ、解決の報告傍々、御願ひいたします。

昭和八年二月二十日 日出コト工業所争々岡 一岡